

‘18(平成30)年8月31日



# 9月 釜小だより

横浜市立釜利谷小学校

釜小Web <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariya/>



## 猛暑の夏を越えて

学校長 岡野 真由美

この夏は本当に「暑い夏」でした。うだるような暑さ、焼け付くような暑さに「参った。」と言いたい毎日ではなかったでしょうか。横浜でも体温と見間違ふような気温が記録されました。一日中、冷房が切れなかったという家も多かったと思います。

猛暑と言われた夏休みでしたが、釜利谷のまちには夏を存分に楽しむ子どもたちの姿がありました。

夏休みに入っすぐ、手子神社の祭礼がありました。半被や鯉口シャツに半股引姿の子どもたちが、お囃子を奏でたり、お神輿とともに練り歩いたり、大きな声で景気づけたりしていました。翌日には、子ども神輿の町内めぐりで、強い日差しの中、汗を飛び散らせながら頑張っていました。

次の週には夏季水泳教室が行われました。晴れの日が続き、プールサイドからは多くの子どもたちの元気のよい声が聞こえてきました。4年生以上の希望者は7月30日に行われた区の水泳大会に参加しました。会場の釜利谷南小学校では、西金沢学園、釜利谷南、高舟台、釜利谷東、釜利谷の5校から集まった子どもたちが、練習の成果を発揮しました。そしてその日の記録から選出された5・6年生が、夏休みの終わりには、市の水泳大会に参加し横浜国際プールで力いっぱい泳ぎました。

8月に入ると各町内会の盆踊りが開かれ、浴衣や甚平を着た子どもたちがそれぞれの会場に集まってきました。初めはなかなか踊りに参加せず見ているだけでしたが、何回か繰り返し曲が流れてくるうちに、自然と踊りの輪の中に入っていました。ライトアップされた櫓の周りには笑顔があふれていました。

また、育てている植物の水やりと観察に学校を訪れる学年がありました。当番が毎日交代で訪れ、ぎらぎらする太陽の下で成長の様子を記録していました。真夏の日差しを浴びて、植物も大きく育ちました。はまっこに通ってくる子どもたちも大勢いて、夏休みの特別プログラムに楽しく参加していました。

アメニティやせせらぎでは、生き物を捕まえようとする子どもたちに出会いました。網や小さな水槽を手に、水の中を覗き込むようにして夢中になっていました。夕方、停留所でバスを待っていると、自転車で少し遠出をしていた子どもたちが家路を急ぐ姿もたくさん見ました。

今、各教室にはこの夏の自由研究や作品が展示されています。猛暑の中でも、いろいろなことにチャレンジした姿が想像できます。

このように子どもたちは夏を楽しみ、一回り大きくなって学校に戻ってきました。数多くの体験は、身体だけでなく、強い気持ちや広い心も育つよい機会だったことでしょう。9月は、たくましくなった子どもたちと共に、前期のまとめや運動会の準備に取り組んでいきます。

